

# 地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 IMA 小委員会

(第 26 期・第 5 回)

## 議 事 要 旨

1. 日 時：令和 7 年 12 月 22 日（月）18：00～19：10

2. 会 場：オンライン会議（Zoom）

3. 出席者：大谷栄治・土屋旬・西山忠男・阿依アヒマディ・井上徹・越後拓也・大藤弘明・鍵裕之・小西博巳・辻森樹・土屋卓久・永島真理子・坂野靖行・福士圭介・森下知晃・門馬綱一

（名簿順、敬称略）

### 4. 議事概要

#### （1）第四回 100 Geological Heritage Sites の申請について

IUGS 100 Geological Heritage Sites の第 4 回申請に向けた、IMA からの推薦候補について議論を行った。すでにユネスコ世界ジオパークとして高い評価を受けている点を踏まえ、第 4 回の候補としてアポイ岳のかんらん岩を推薦することが決定された。

森下氏を世話人とし、2026 年度中にアポイ岳ジオパーク関係者等と連携して申請書類を作成し、2027 年に提出する予定である。

#### （2）IMA2026 南京と IMA2030 について

大谷氏および大藤氏より、IMA2026 南京大会に関する情報共有が行われた。会期は 2026 年 8 月 20 日～24 日の予定であり、セッションプロポーザルは 2025 年 12 月 15 日に締め切られ、40 件以上の提案が提出されたことが報告された。また、2026 年 3 月 1 日がアブストラクト締切、4 月 15 日がレジストレーション締切であることが確認された。あわせて、レジストレーション費用および招待講演者の参加費用に関する情報共有が行われた。

IMA2030 については、カナダで開催されることがほぼ確定しているとの報告があった。開催候補地はバンクーバーまたはトロントであり、LOC 等の体制については現在調整中である。

#### （3）令和 8 年度代表派遣会議の募集

土屋委員長より、すでにメールにて案内済みである令和 8 年度代表派遣会議の募集に

について説明があった。派遣を希望する委員は、12月30日までに委員長へ申請書類を提出することが確認された。

#### (4) 各コミッション・ワーキンググループ報告

##### 鉱物物理学コミッション(CPM)報告：土屋 旬 氏

IMA2026 総会の開催時期に合わせ、Paola Comodi 氏の委員長退任に伴い、土屋 旬 氏が委員長に就任し、Di Benedetto 氏が副委員長に就任することが発表された。Secretary については現在検討中である。また、委員会活動の活性化を目的として、委員の任期設定および活動の可視化のための CPM ウェブページ作成計画について報告があった。アフリカ放射光コンファレンスに IMA を代表してリモート参加し、4 件の講演を行った。学生・若手研究者向けの鉱物物理学のレクチャーシリーズを準備中である。

##### 宝石素材委員会 (GM) 報告：阿依アヒマディ 氏

2025 年にアテネで開催された国際宝石学会における宝石素材委員会会議について報告があり、80 名の研究者が参加し、53 件の発表が行われたことが共有された。あわせて、宝石業界における情報開示の重要性について言及し、特に翡翠の分類に関して、中華圏と日本における定義の違いが市場の混乱を招いている点が指摘された。

##### ナノ鉱物学ワーキンググループ (WG) 報告：福士圭介 氏

イタリアで開催された国際会議においてセッションを担当したことが報告された。また、IMA2026 において環境ミネラルogieをテーマとしたセッションを開催する予定であることが共有された。

##### 博物館委員会 (CM) 報告：坂野靖行 氏

9 月にウェブ会議が開催され、各国博物館におけるコレクションデータベース構築について議論が行われたこと、ならびに 12 月に委員会から各国委員宛に調査アンケートが送付されたことが報告された。

##### 新鉱物命名委員会 (CNMNC) 報告：門馬綱一 氏

新鉱物承認手続きの見直しの一環として、新鉱物申請書類の書式変更が行われたことについて説明があった。

##### IMA 活動報告

大谷氏より、IMA 全体の活動について報告があり、2025 年度メダリストの選出、IMA メダル審査委員会のハンドブックの改定、ならびに IMA2026 南京大会以降の人事について説明があった。また、IMA 応用鉱物学コミッション (CAM) の再構築が進行中であり、日本から新たな代表の参加を呼びかけられた。

続いて大藤氏より、IMA 公式ホームページの改定および過去の総会発表要旨の電子化について報告があった。現状ではサーバー容量の制限により、100MB を超えるファイルのアップロードが困難であることが説明された。